

【説明資料(提出ファイル)】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFに変換した後、web提出フォームにて提出する。

個人・グループ名	植田大晟 教育学研究科 学校教育専攻 教材開発コース 情報・技術領域 岳野ゼミ	大学名	滋賀大学大学院	
作品名	Smart stool	人数	1名	

製作目的

本作品は、プロダクトデザインのプロセスを学習することを目的として製作した。プロダクトデザインは、商品開発のプロセスであり、デザインの課題を設定し、解決する分野である。今回は、試作を複数回を行い、最終的な作品を3脚製作した。

情報・収集

研究室で使用している椅子と市場で販売されている椅子について調査した。その結果、以下のことがわかった。

- ・作業に適した椅子がないこと。
- ・机の高さと合った高い椅子がないこと。
- ・背の高いスツールが作業を行うことに適していること。
- ・背の高いスツールは、550-600mmで販売されていること。

コンセプト

「作業の際に
少し腰掛けるスツール」

詳細なコンセプト

- ・すっきりとした見た目
- ・座面にカラフルな布を張ることで空間を彩るような椅子
- ・三本脚と座面で構成されたスツールタイプの椅子

試作

コンセプトに沿った形状を検討するために複数回試作をした。

1.高さの検討

研究室の学生に合う高さを調べ、高さを決めた。



2.貫の検討

すっきりとした見た目と強度がある貫の構造を決めた。



Smart stool

材料：ナラ 高さ：580mm



3.座面の検討

円形、三角形の座面を試作し、座面の形状と寸法を決めた。



4.座面の装飾の検討

赤、青、黄、灰色、白の布地を用意し座面の装飾を決めた。



アイデア スケッチ

スケッチによってコンセプトに沿った形状のイメージを検討することができた。

- ・貫の位置
- ・脚と座面の大きさ
- ・すっきりとした見た目にするための部品のバランス
- ・座面の形状

